



### 98就職戦線

## 明確な職業意識をもって活動を

### 就職指導も吟味し実施

一九九七年度の就職戦線は、協定廃止の影響を受け、早期採用試験を目前に控えた今、長期化、多様化という現象を生んだ。九八年度は、更に分散化することが予想され、学生をとりまく環境は、一層厳しさを増す状況にある。

就職課では、昨年七月の三年次就職ガイダンス以降機会あるごとに「自己分析」「業界研究」「企業研究」の必要性を指摘し、学生の自己啓発を促してきたところである。採用試験を目前に控えた今、このことはますます重要になっていく。

景気の先行きに対する不安感が一層高まり、各企業が採用を手控える傾向にある現在、就職活動に臨む個々の学生には、明確な職業意識を持つて開きされた状況を自ら切り開くという積極性が要求される。就職課では、今後も引き続き

★卒業生要録就職登録提出 10月8日

★就職ガイダンス 7月10日、9月25日、10月16日、10月26日

★卒業生要録就職登録提出 10月8日

## 人文学部も 98年度から 沖縄国際大学と単位互換

昨年十一月一日、沖縄国際大学において、本学人文学部と沖縄国際大学文学部との単位互換協定の締結が完了した。沖縄国際大学の単位互換制度は、既に法学部が一九九三年度から導入している。人文学部も、既に法学部が一九九三年度から導入している。



調印した協定書を交換する沖縄国際大学平数学長(左)と本学杉本学長

人文学部は、本学英語英文文学科の開講科目と共通するものが多い。一方、社会学科は「文化コース」「社会コース」「社会福祉コース」の三つのコースがあり、本学人間科学科の「社会生活と人間科学」「思想・文化と人間科学」に通じるものがある。

単位互換の対象学年は、二・三年次。十名以内。留学期間は、前期、後期、一年間

- ★内定学生による体験報告会 10月27日、11月6日
- ★業界研究会 11月10日、11月21日
- ★OB・OG懇談会 1月29日、2月4日
- ★個人面談 11月28日、12月24日、3月11日、3月30日
- ★就職特別講座(学内企業セミナー) 2月23日、3月6日、4月13日、5月15日
- ★就職特別講演会 1月27日、1月28日
- ★模擬面接 3月9日
- ★女子学生のポリッシュアップ講座 3月10日
- ★就職ガイダンス 7月10日、9月25日、10月16日、10月26日
- ★卒業生要録就職登録提出 10月8日

## 大学選書第6号を刊行 平石 修 著 『一般利潤率の傾向的低下の法則』

本書の主題、利潤率低下法則は資本主義法則と共に資本の無等にかかわらず社会の経済的運動法則の解明に当りマルクス経済学でできよう。詳細な数式展開の概要を成す。著者はその最初の批判者ツガン・バラノフスキーの説、柴田・都賀論争、労働価値説に立ち入り検討する。折衷論者ツガンの主張も十分の点は指摘しつつも根本は認め、マルクス説とその擁護者の主張も適切に論議する。本書の主張は一般利潤率の傾向的低下は成立しない、その上昇傾向に更新すべし、ただし上昇率の低下と生産力の発展領域の狭小化にマルクスの主張した矛盾は二〇〇頁、本体価格七、〇〇〇円

変容しつつも現れている、またそれは部門分割や固定資本の有無等にかかわらず一般的に妥当する、と要約できよう。詳細な数式展開の概要を成す。著者はその最初の批判者ツガン・バラノフスキーの説、柴田・都賀論争、労働価値説に立ち入り検討する。折衷論者ツガンの主張も十分の点は指摘しつつも根本は認め、マルクス説とその擁護者の主張も適切に論議する。本書の主張は一般利潤率の傾向的低下は成立しない、その上昇傾向に更新すべし、ただし上昇率の低下と生産力の発展領域の狭小化にマルクスの主張した矛盾は二〇〇頁、本体価格七、〇〇〇円

平成九年十二月四日に開催された学校法人札幌学院大学第一三回理事会において、平成十年度学費を下表の通り改訂することを決定しました。平成十年度学費は、所属収入の減少と消費支出の増加から、最小限の学費改訂を行わざるを得ず、大学院法務研究科・一部の各学部は三万円、二部は一万五千円の改訂やむなしに至りました。平成十年度学費の概要は次号で報告させていただきます。

平成十年度の所属収入は、手数料、寄付金、補助金、雑収入の各科目で減少が予想されます。

基本金組入はC.A.L.L.教室、情報教育実習室への空調設備と駐輪場の新設、新たな第二号基本金組入がその主な内容ですが、所属収入の減少、消費支出の増加が予想されることから基本金組入額を大幅に減少させています。

消費支出は大胆な経費削減の努力をしながらも、本学の特色の一つである情報教育推進の立場から教育条件の改善を図った結果、大幅な経費の増加となりました。更に平成九年度における図書館増築や

平成十年度学費改訂について

ボイラー設備の更新により減価償却額が増加するのに加え、事務用大型計算機の更新が必要となり、この経費の増加は避けられません。

教学条件の改善に伴う減価償却額や経費の増加は、恒常的要素の強い支出は、基本的に恒常的収入源をもって賄わなければなりません。将来計画を見直し第1号基本金組入計画の積立速度を落とすことにより、その一部を賄うこととし、学費改訂への影響を極力少なくするよう配慮しました。

このところの景気の先行きが不透明な状況下、学費改訂を提起することは真に心苦しい限りですが、今後とも経費の削減に努めるとともに各種補助金の獲得に積極的に取り組む所存です。

	平成10年度 新学費	平成9年度 現行学費	差額
入学金	200	200	0
授業料	834	804	30
合計	1,034	1,004	30

	平成10年度 新学費	平成9年度 現行学費	差額
入学金	200	200	0
授業料	816	786	30
合計	1,016	986	30

	平成10年度 新学費	平成9年度 現行学費	差額
入学金	200	200	0
授業料	1,037	1,007	30
合計	1,237	1,207	30

	平成10年度 新学費	平成9年度 現行学費	差額
入学金	100	100	0
授業料	460	445	15
合計	560	545	15

日本銀行内定

私は大学生活を通じ多くのことを学び、成長してきたと思う。なかでも物事を見極める目を多少なりとも育てることができたことは、この四年間における最も貴重な財産になったと感じている。なぜなら、固定観念を排し、いろいろな視点で対象を見極めていくことは、自分自身を成長させるための能力であると共に、最高の人生を送るための知恵であると感じるからである。大学で学んだ多くの学問や、ゼミ活動は、そのような目を育てるものであったと感じている。最後ではあります。大学という場に送り出してくれた両親や、私を支えて下さった先生や友人に、この場を借りて感謝申し上げます。

夢を持ち続けて 教員に

高校時代からの夢を現実のものにすることができた今、四年間の学生生活も終わりを迎えるようになっている。振り返ってみると、とても充実したかけがえない日々であったと思う。

私は教員になることを目標として大学に進学したが、教員採用検査を意識するようになったのは、実のものにすることができた今、四年間の学生生活も終わりを迎えるようになっている。振り返ってみると、とても充実したかけがえない日々であったと思う。

いま、巣立つとき

世界地図を見る。その中央には、小さな島国「日本」が位置し、多くの国々が取り巻くというお馴染みの光景を目にする。あたかも世界の中心が日本であるかのような錯覚に囚われてしまうが、世界各地にはその国々、中心の地図がある。つまり、日本が中心に位置するものだけが地図ではない。

物事を見極める 目を養えた

反保 勇

私は大学生活を通じ多くのことを学び、成長してきたと思う。なかでも物事を見極める目を多少なりとも育てることができたことは、この四年間における最も貴重な財産になったと感じている。なぜなら、固定観念を排し、いろいろな視点で対象を見極めていくことは、自分自身を成長させるための能力であると共に、最高の人生を送るための知恵であると感じるからである。大学で学んだ多くの学問や、ゼミ活動は、そのような目を育てるものであったと感じている。最後ではあります。大学という場に送り出してくれた両親や、私を支えて下さった先生や友人に、この場を借りて感謝申し上げます。

日本銀行内定

私は大学生活を通じ多くのことを学び、成長してきたと思う。なかでも物事を見極める目を多少なりとも育てることができたことは、この四年間における最も貴重な財産になったと感じている。なぜなら、固定観念を排し、いろいろな視点で対象を見極めていくことは、自分自身を成長させるための能力であると共に、最高の人生を送るための知恵であると感じるからである。大学で学んだ多くの学問や、ゼミ活動は、そのような目を育てるものであったと感じている。最後ではあります。大学という場に送り出してくれた両親や、私を支えて下さった先生や友人に、この場を借りて感謝申し上げます。

(注) 第2学年以降の学費は、4年間の学費総額の上限を212万円の範囲内で改訂(大学院・各学部とも入学金は平成10年度入学生のみ)

語学をマスターするだけでなく、諸外国の生活・文化を深く理解し、幅広い知識と多様な価値感を学ぶことがますます重要になっている。本学でも海外の大学との関係

強化に努め、このほど2大学と協定を締結。学生の留学・研修の機会がさらに広がった。これで本学の海外協定校は5大学になった。

# 世界へのゲートウェイ広がる

## 新たに2大学と協定 98年度からプログラム開始



教室や研究室から成る正方形の建物が中庭を取り囲むキャンパス



ヴィクトリア朝風建築が特徴的なWivenhoe conference centre

イギリス エセックス大学  
D.K. 半期留学

昨年十月、エセックス大学と大学間協定を締結。九六年度から留学制度を実施しているアメリカのパンフィック・ルーゼン大学(PLU)には二名の学生が留学する。留学期間は四月中旬〜九月上旬の前期五ヶ月間。初年度は緑と歴史の建造物に囲まれ恵まれた環境にある。学生数約五、四〇〇名で、十六の学科から成る。外国語教育にも力を入れ、外国語教育理論、第二言語習得理論での先進的な研究業績がめざましい。

カナダ サイモン・フレージャー大学  
CANADA 短期海外研修

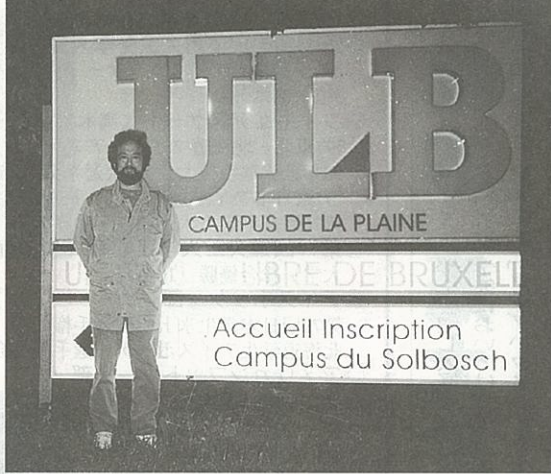
サイモン・フレージャー大学(SFU)とは、昨年十二月に大学間協定を締結した。九八年度から夏期休暇中の五週間海外研修プログラムを開始する。これで短期海外研修先はカリフォルニア大学デービス校と合わせて二校となる。SFUでは、多彩なカリキュラムの授業やアクティビティを通じて、カナダの文化・社会も体験的に学ぶ。キャンパスはブリティッシュ・ユー・コロニア州バーナビー市にあり、丘に広がるモダンな校舎から、バンクーバー内が一望できる。学生数は約二、三〇〇〇人。カナダの大学院を持つ総合大学の部門では、九六〜九七年、二年連続

### 海外レポート

## 言葉のキャッチボールを楽しむ

社会情報学部助教授 皆川 雅章

九七年四月からブリュッセルのベルギー自由大学(Universite Libre de Bruxelles)に在外研究員として滞在しています。当大学は七学部三研究所がCampus de la Plaine、Campus du Solbosch、Campus Erasme(三つのキャンパスに分かれて配置されています。学生数は約一八、〇〇〇人です。私がお世話になっている研究室IRIDIAはSolbosch内にあります。この研究室には、常勤の教授、助教授、研究助手がいて、これ以外の人達は、プロジェクト単位で仕事をする研究員と大学院生達です。着任した翌日に部屋と鍵をもらい、「自分のやりたいことを自由にやってみよう」と言われて、なるほど大学の名の通りだとなんと感心しておりました。地理的にはヨーロッパの中心に位置しているだけあって、ここは国際色豊かで、地元の人ベルギー人の他にイタリア、イギリス、スペイン、ベトナム人(それと日本人)が在籍しています。当地の公用語はフランス語ですが、これだけ国籍が多いと共通語として英語を使わざるをえなくなりません。同じ英語でも国ごとに



Campus de la Plaine にて

た議論の「いま」を知りたいということが、イギリスに留学先を決めた最大の理由です。ちょうど保守党から労働党へ政権が変わったことを受けて、具体的な政策の方向と関わった議論がより活発になってきている様です。この一年でどのような推移をたどるのか、じっくり見えていきたいと思います。

先日、イングランド北部の田舎に小旅行に出かけた際、ローカル線で同席した何人かの中学生の男の子に将来何になりたいか、どこに住んでみたいかと聞いてみました。住んでみたいところは皆地元で、運転手、ペンキ職人、電気技術者になりたいとの答え。漠然と都会で会社員という子どもはおらず、こうした意識が、どちらかといえば質素な、物

### PLUレポート

## 最高のFAMILY

人文学部英語英米文学科2年 岡崎 江美

留学生活を楽しく過ごすために必要なこと、Study Hard、そんなことは当たり前。私がお薦めするのはホストファミリーと本当の家族になること。彼らは一番身近なネイティブ・スピーカー。沢山会話をすれば自然と英会話のトレーニングになる。また、アメリカン・カルチャーや情報をいち早く知ることができる。私のホストファミリーからはこの他にアメリカのユーモアのセンスを教わった。私は、両親と子供達五人の家庭にステイしている。私がホストファミリーの陽気に気づいたのはアメリカに着いたその日だった。家族全員で迎えに来てくれ、家に向かうその車の中で彼はユーモアのセンスを発揮した。車を運転していた彼は突然急ブレーキをかけて止まった。私だけ

しい人で、会話がはずむ。彼の作るラザニアは、シナモンロール同様、今では私ののお気に入りの一つだ。子供達と付き合うには膨大なエネルギーがいる。特に下の子三人(九歳、七歳、六歳)はやっぱりママさんである私はもちろん遊んであげている。カルチャー・ショックになんかなる暇がない。唯一の女の子とは色々な話をする。ファッション、流行、ボーイフレンド……。



ホストファミリーの子供達と一緒に Halloween のパンキンを作る筆者(左から2人目)

### 海外レポート

## イギリス 社会政策の議論を探る

人文学部助教授 松本 伊智朗

リカに、もう一つ家族を持つことができた。

一九九七年十月から一年間の予定で、London School of Economics and Political Science (LSE) と「Social Policy and Administration」という学部で留学の機会を与えていただいています。一年間職場を離れるというところは学生や教職員の方々に多くの負担をおかけして初めてできることであり、貴重な機会に感謝しています。関係する講義やゼミ、研究会などに出席したり、こちらの先生に議論の時間をとっていただいたりという毎日です。

イギリスは伝統的に「貧困」に関する議論や研究の盛んなところ。社会政策のあり方に関する議論の基底にこうした地道な研究の蓄積があることを、こちらに来てあらためて痛感しています。こうし



イングランド北部キースリー駅にて

